

# シルビア1液ハイブリッドセラ シルビア1液ハイブリッドセラ遮熱 カタログ

【改訂第2版】



「1液で取り扱いやすく！」

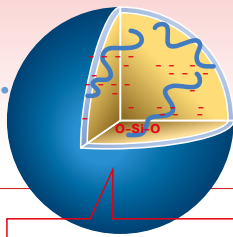
「簡単施工で超高耐候性の製品を!!」

「のご要望に応えました！」

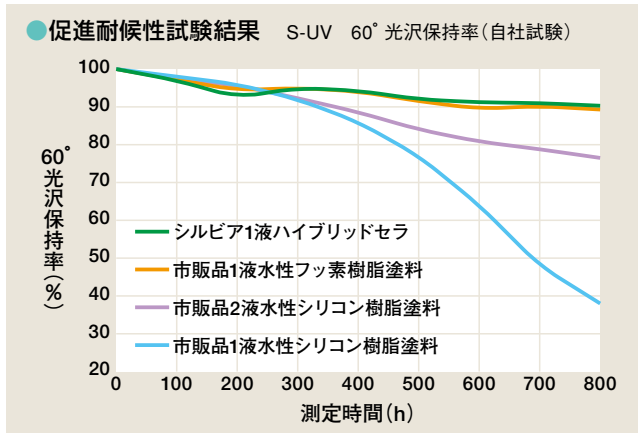
# 特長

## 1 超高耐候性

高い耐久性能をもつハイブリッド樹脂に加え、紫外線によるダメージ対策として、独自に2種類の「ラジカル制御技術」を採用！1液水性フッ素樹脂塗料と同等以上の優れた耐候性により、長期にわたり建物を保護します。



有機の柔軟性と無機の硬さがバランスよく組み合わされた緻密なハイブリッドタイプ樹脂です。  
※図はイメージです。



## 2 作業性・乾燥性

1液水性タイプで臭気も少なく、作業性・乾燥性に優れています。

## 3 安全性

水性塗料で臭気も少なく、シックハウス対策、学校安全衛生基準、厚生労働省の規制を受ける化学物質は含有していないため、安全性に優れています。

## 4 優れた低汚染性

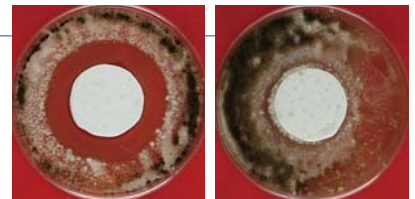
市販品の1液水性フッ素樹脂塗料と比較し、硬く緻密で、汚れにくい塗膜を形成します。

## 5 防かび・防藻性

外壁の美観を損なうかびや藻の発生を抑制します。

### ●防かび試験

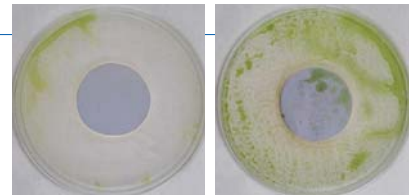
シルビア1液ハイブリッドセラ/市販品塗料をそれぞれ塗布したる紙をかび水溶液に浸漬し、4週間後にかびの生育状況を目視評価しました(JIS Z 2911の塗料試験に準拠)。



▲シルビア1液ハイブリッドセラ ▲市販品塗料

### ●防藻試験

シルビア1液ハイブリッドセラ/市販品塗料をそれぞれ塗布したる紙を藻水溶液に浸漬し、4週間後に藻の生育状況を目視評価しました。



▲シルビア1液ハイブリッドセラ ▲市販品塗料

## 6 遮熱性

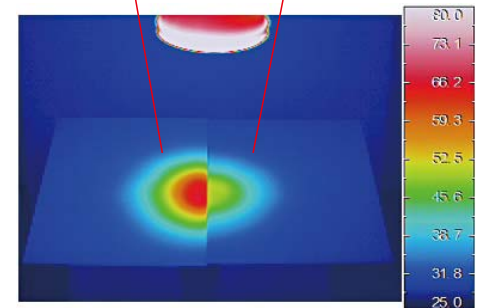
「シルビア1液ハイブリッドセラ遮熱」は室内への熱の侵入を軽減し、快適な居住空間に貢献します。

### ●遮熱性能試験結果

●基材:スレート板 ●色相:R-820P ●300Wレフランプ:照射距離15cm



市販品1液水性フッ素樹脂塗料 シルビア1液ハイブリッドセラ遮熱



## 主な用途

- コンクリート・モルタル・金属面の塗装
- 複層仕上塗材のトップコート
- スレート板、窯業系サイディングボード、無機ボードなどの塗装
- PC板・コンクリートパネルなどの塗装
- 改修工事のトップコート

## 標準色

●シルビア1液ハイブリッドセラ、シルビア1液ハイブリッドセラ遮熱は、艶調整に対応できません。

### ●シルビア1液ハイブリッドセラ(20色)

- R-801 ●R-806 ●R-811 ●R-816
- R-802 ●R-807 ●R-812 ●R-817
- R-803 ●R-808 ●R-813 ●R-818
- R-804 ●R-809 ●R-814 ●R-819
- R-805 ●R-810 ●R-815 ●R-820

※色相は「EXTERIOR COLOR SAMPLE」をご参照ください。  
※シルビア1液ハイブリッドセラの標準色以外の色相(特注色)は、日本塗料工業会発行「塗料用標準色」の彩度区分A、B、C、D、Fが調色可能範囲の目安です。

### ●シルビア1液ハイブリッドセラ遮熱(22色)

- R-804P ●R-814P ●R-821P ●R-839P ●R-847P
- R-805P ●R-815P ●R-822P ●R-840P ●R-849P
- R-806P ●R-818P ●R-828P ●R-841P
- R-807P ●R-819P ●R-829P ●R-843P
- R-808P ●R-820P ●R-834P ●R-845P

※色相は「EXTERIOR COLOR SAMPLE【改訂第2版】」以降をご参照ください。  
※●R-809P、●R-810Pは含まれていません。  
※シルビア1液ハイブリッドセラ遮熱は、標準色以外の色相に対応できません。

# 標準塗装仕様

工法名		工程数	①	②	③	④		
水性プライマー工法 標準仕様		●	NT水性カチオンプライマー 使用量0.1~0.15kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液ハイブリッドセラ 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液ハイブリッドセラ 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	—
水性プライマー工法 遮熱仕様		●	NT水性カチオンプライマー 使用量0.1~0.15kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液 ハイブリッドセラ遮熱 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液 ハイブリッドセラ遮熱 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	—
既存塗膜がある場合の 改修仕様	シルビアサーフワールローラー工法 標準仕様	●	シルビアサーフ 使用量0.3~0.5kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液ハイブリッドセラ 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液ハイブリッドセラ 使用量0.13~0.16kg/m <sup>2</sup>	—
	シルビアサーフワールローラー工法 遮熱仕様	●	シルビアサーフ 使用量0.3~0.5kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液 ハイブリッドセラ遮熱 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液 ハイブリッドセラ遮熱 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	—
	シルビアサーフ大波工法 標準仕様	●	シルビアサーフ 使用量0.8~1.5kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液ハイブリッドセラ 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液ハイブリッドセラ 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	—
	シルビアサーフ大波工法 遮熱仕様	●	シルビアサーフ 使用量0.8~1.5kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液 ハイブリッドセラ遮熱 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液 ハイブリッドセラ遮熱 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	—
	NTダンネツベース大波工法 遮熱・断熱工法	●	NTダンネツベース 使用量0.5~1.0kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液 ハイブリッドセラ遮熱 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液 ハイブリッドセラ遮熱 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	—
	NTダンネツベース+ NTダンネツコート大波工法 遮熱・断熱工法	●	NTダンネツベース 使用量0.5~1.0kg/m <sup>2</sup>	●	NTダンネツコート 使用量0.6~0.8kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液 ハイブリッドセラ遮熱 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	●
金属部改修仕様	エポラオールプライマー工法 標準仕様	●	エポラオールプライマー 使用量0.13~0.16kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液ハイブリッドセラ 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液ハイブリッドセラ 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	—
	エポラオールプライマー工法 遮熱仕様	●	エポラオールプライマー 遮熱ホワイト 使用量0.13~0.16kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液 ハイブリッドセラ遮熱 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	●	シルビア1液 ハイブリッドセラ遮熱 使用量0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>	—

※記載の仕様は標準塗装仕様です。施工環境、施工条件、下地の凹凸などにより、使用量は増減します。

※下塗りは「エポラマイルドプライマーS」「エポラ浸透遮熱プライマー」も使用できます。

※下地の劣化が激しく、脆弱で吸い込みが多い場合は、下塗りに「エポラマイルドプライマーS」「エポラ浸透遮熱プライマー」を推奨します。ご使用に際しては最寄りの営業所へお問い合わせください。

# 構成製品一覧

	製品名	色相	荷姿	塗装方法・希釈量	希釈剤	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)
下塗り	NT水性カチオンプライマー	クリアー	15kg, 4kg	●ローラー、刷毛……無希釈	—	—	2時間以上72時間以内
	エポラオールプライマー	グレー 赤サビ 遮熱ホワイト	16kgセット { A液: 14kg B液: 2kg } 4kgセット { A液: 3.5kg B液: 0.5kg }	●ローラー、刷毛……無希釈	—	6時間以内	12時間以上72時間以内
	エポラマイルドプライマーS	クリアー	28kgセット { A液: 14kg B液: 14kg } 14kgセット { A液: 7kg B液: 7kg }	●ローラー、刷毛……無希釈	—	6時間以内	12時間以上72時間以内
	エポラ浸透遮熱プライマー	淡グリーン (カラークリアー)	16kgセット { A液: 14kg B液: 2kg }	●ローラー、刷毛……無希釈	—	6時間以内	12時間以上72時間以内
下塗り兼中塗り	シルビアサーフ	ホワイト系	16kg	●中毛ローラー……0.5~1.6kg ●砂骨ローラー……0~0.5kg	水	—	16時間以上72時間以内
	NTダンネツベース	ホワイト系	12kg	●砂骨ローラー……0~0.36kg	水	—	16時間以上72時間以内
中塗り	NTダンネツコート	ホワイト系	10kg	●砂骨ローラー……0~0.3kg	水	—	2時間以上72時間以内
上塗り	シルビア1液 ハイブリッドセラ	標準色20色 (特注色可能)	16kg	●ローラー、刷毛……0~0.8kg ●スプレー……0~1.6kg	水	—	2時間以上72時間以内
	シルビア1液 ハイブリッドセラ遮熱	標準色22色 (特注色不可)	16kg		水	—	2時間以上72時間以内

※気温30℃以上では「エポラオールプライマー」「エポラマイルドプライマーS」「エポラ浸透遮熱プライマー」の可使時間が短くなり「2時間」程度になります。夏場はA液とB液の攪拌後、必ず「2時間」以内に使い切るようにしてください。

※上塗りの特注色は価格が割りと高くなります。受注後、納期がかかります。ご了承ください。

## ■施工上の注意点

## 【素地調整について】

- 粗面やALC面、多孔質下地などは「NTカチオンシリーズ」などを使用し、素地調整を行なってください。その後は「NT水性カチオンプライマー」を塗布してください。
- 風化面、吸い込みの多い下地の場合は再度、プライマーを増し塗りしてください。
- 既存塗膜の劣化状況によっては、別途プライマーや目粗しが必要になります。
- 素地の状態は表面含水率10%以下(ケツ科学社製CH-2型)または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- 表面のチョーキング、こみ、ほこり、かび類、藻類、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは適切な下地処理を行なってください。
- 高圧水洗機が使用できない場合はホースで水を流しながらブラシなどを使用し、こみやほこり、かび類、藻類を完全に除去してください。著しくかびや藻の発生しやすい環境下では、防かび、防藻効果が十分に発揮されない場合があります。
- 高圧水洗機やスプレー塗装の際は、施工中のミスト飛散防止の養生を充分に行なってください。
- 赤錆、白錆、緑青など、錆の汚れには効果がありません。錆が発生している場合はワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去して、金属用のエポラオールプライマーを施工してください。
- 油分が付着している場合は中性洗剤などを使用し、除去してください。
- 下塗りパターンが必要な場合は、シルビアサーフまたはNTダンネツベースを使用してください。ハイブルーフやNT弾性コートなどの高弾性タイプの塗料は、塗膜の割れを引き起こすので使用しないでください。
- 塗り替え塗装で既存塗膜が2液溶剤系フッ素樹脂塗料、2液溶剤系シリコン樹脂塗料、弾性スタッコ、弾性リシン、アクリルトップの場合、既存塗膜がすでに膨れている、また既存塗膜の表面にピンホール(細かな気泡)が生じている場合があります。その上に塗装すると膨れがさらに大きくなる可能性がありますので、上記の場合は既存塗膜を完全に除去してください(とくに部材が軽量モルタル、ALCパネル、窯業系サイディング、発泡ウレタンなどを使用した断熱工法の外壁の場合は注意が必要です)。既存塗膜面を剥離した個所は、なるべく既存塗膜と同一種類の塗料を用い、パターンの復旧を行なってください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状況、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることがあります。

## 【塗料と塗装について】

- 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより、多少の幅が生じることがあります。
- 使用後は塗装器具メーカーの指示に従い、適切な洗浄および保管をしてください。
- 夏季、炎天下でエアレスホース内に塗料を入れたまま放置しますと、つまりの原因となります。
- 外壁表面を水洗いした後や雨、露、霜で濡れている場合は十分に乾燥させてから塗装してください。
- 降雨、降雪が予測される場合や気温が5℃以下、湿度80%以上での塗装は避けてください。
- 塗膜が十分に乾燥しないときに降雨や結露などによる水分の影響を受けた場合、塗膜表面の白化や割れ、シミ、低汚染機能の喪失などが発生する可能性がありますので、水分の影響を受ける場合は施工しないでください。また、乾燥までの時間を考慮して作業を実施してください。
- 材料の保管は直射日光を避け、室温5℃以下、30℃以上にならない室内で保管してください。低温では凍結の恐れがあるため、ご注意ください。
- 希釈率は試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。ただし、希釈量は材料温度、色、施工条件、施工方法により変化しますので事前に試し塗りを行なってください。
- 塗装間隔や塗布量、希釈量は必ず守ってください。長期の耐久性に影響があります。上塗は過剰希釈しますとハジキ、光沢低下、外観不良などの原因になります。希釈量を厳守し塗装を行ってください。また、塗料が濃色の場合、色相によっては標準の塗り回数では隠べいしない場合があります。その場合は塗り回数を増やしてください。
- 補修塗りを行なう場合は、使用塗料のロット、希釈量、塗装方法などの条件を同一にしてください。また塗装方法が混在する場合、塗布量、表面肌が異なることで若干の色相差や光沢差がでることがあります。ローラー塗りと刷毛塗りが混在する場合は同一希釈量で行ない、補修塗りは最小範囲で行ってください。またローラー塗りの場合は、ローラーの目により仕上がり色相が異なって見えることがありますので、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください(目立ちにくくなるように塗装してください)。
- 塗装後、塗膜が乾燥するまでに養生テープを剥がしてください。塗膜乾燥後に養生テープを剥がす場合はカッターナイフなどを用いて取り外してください。

- 可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装は避けてください。また、これらの部位に塗料が直接触れないようにしてください。
- 建物の入隅部などに塗料が溜まりやすくと収縮割れを起こす可能性がありますので、均一に塗装してください。
- シーリング材の劣化などがある場合には打ち替えを行なってください。
- シーリング面への塗装は塗膜の汚染や剥離、収縮割れが発生する場合がありますので極力行わないでください。やむを得ず使用する場合はシーリング材が完全硬化した後に、シルビアEプライマーを下塗りすることで不具合の軽減がはかれますが、それでも、シーリング材の種類、使用条件などにより、不具合が起こることがあります。
- 目地幅、隙間幅が大きい場合や建物やボードの動きの激しい部位のシーリング部への塗装は塗膜が割れる場合がありますので避けてください。
- シーリング材が使用されている部位周辺は、シーリング材から溶出する可塑剤やシリコンオイルなどの付着により、充分な低汚染性が発揮されない場合があります。
- 塗装色より既存塗膜の色が薄い場合、遮熱(温度低減)効果が得られないケースもありますのでご注意ください。また、色相により遮熱効果が変わります。
- NTダンネツベースおよびNTダンネツコートは冬季および高湿度状態では塗膜の乾燥が極端に遅くなり、降雨や結露などで塗膜表面に白化などの異常を引き起こす可能性があります。このため、乾燥までの降雨や結露などの水分の影響を考慮して施工してください。また、NTダンネツベースおよびNTダンネツコートの塗膜内部の乾燥不足状態で上塗を施工した場合、降雨や結露などで膨れなどの不具合が発生する可能性があります。NTダンネツベースおよびNTダンネツコートの乾燥を確認して上塗塗装を行なってください。
- 大気中の浮遊鉄成分の多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 傾斜壁の下端部、笠木などで水切りのない部位、排気口周辺など、局所的に汚れの負荷が大きい場合は、低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
- 排気ダクトから出る油などの有機物、車の排気ガス、工場のばい煙などに含まれる粉塵が着きやすい場合は、塗膜の耐汚染効果が発揮されず、汚れが付着する可能性があります。

## 取り扱い上の注意事項

## (よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合はABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 標準色以外をご指定された場合、褪色が早い場合や、塗膜性能低下が発生する可能性があります。
- 本製品は環境を配慮した材料を用いていますが、ご採用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

\*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】


**日本特殊塗料株式会社**

■代理店

## ■お問い合わせ先

- |                                    |                                 |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2      | ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323 |
| 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10     | ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739 |
| 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12      | ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12     | ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560 |
| 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 | ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256 |
| 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726  | ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762 |

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.ntonryo.co.jp/>